

2024/12/9（金）

A 本日はインタビューよろしくお願ひいたします。

建設業で働いているAといいます。
今日はよろしくお願ひします！

B 同じく建設業で働いているBといいます。
本日はよろしくお願ひします！

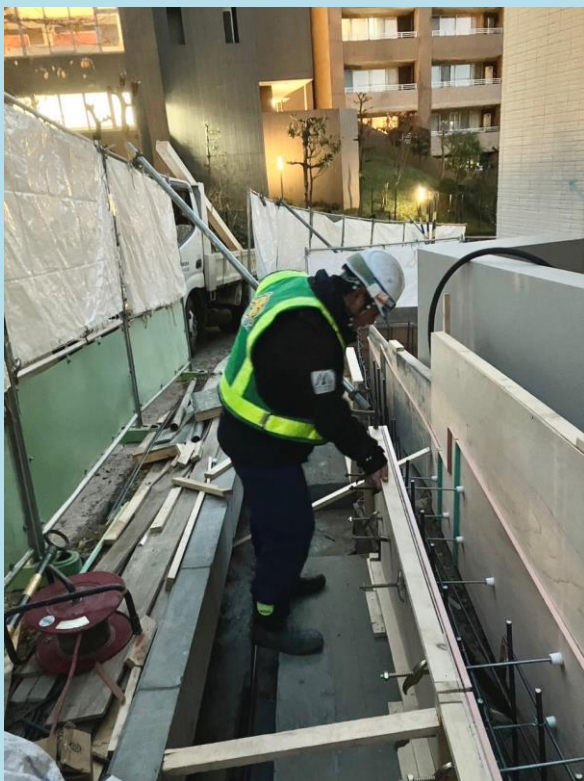
今の会社ではどれくらいの期間
働いているのですか？

A 10年働いています。

B 3年7か月です。

どのようなところで働いているのですか？

A 新しいマンションの外構工事で型枠の設置をしています。



B こんどオープンする大手コンビニの現場で駐車場のアスファルト舗装工事をしてます。



今の会社で働くことになった
きっかけは何ですか？

A

更生保護施設の方から「こういう仕事があるけどどう？」と紹介されたことです。
いくつか候補をもらったのですが、面接を受けてみて、今の会社に内定をもらったので、そのまま就職することにしました。

B

自分も似たような感じで、矯正施設にいたときに就労支援の人から5つぐらい仕事を紹介されて、面接を受けて入りました。

自分で探そうとは思わなかったのですか？

A

自分でも探していたのですが、仕事を見つけた次の日から仕事をしたかったという思いがあって、翌日から始められる仕事を探していました。今の仕事は、会社から「明日からお願いします」と言われたので、今の仕事に決めました。

B

自分で探すことはなかったです。
正直、そのときは働く気があまりなかったのですが、ただ、働かないと生活できないと思ったので、仕方なく紹介されたものから選んだ感じですか。

この業種がやりたい、この仕事
がやりたいというのはありましたか？

A

もともと頭を使うのが苦手で、体力があったので、力仕事であれば何でもいいかなという感じで、特定してこれがやりたいというのはありませんでした。

B

特にこれがいいというのはなかったです。
施設に紹介された仕事は全部現場の仕事だったのですが、体力を使うのもいやでしたし、かといって頭を使うのもいやだったので、今の仕事は仕方なく選んだという感じですか。最初は職場体験としてはじめてたもので、その期間が終わったらやめようと思っていたのですが、やってみたら興味がわいてきて気づいたら続いている感じですか。

今の仕事で楽しいことは何ですか？

A 難しいですね。

仕事に関してこれが楽しいと思うものはなかなかないのですが、会社の人たちと一緒にいる時間は楽しいです。

B Aさんと同じですね。

ただまじめにやっているという感じです。

働かないと生活できないので。

周りの人たちとはとても仲良くさせてもらっていて、それは楽しいです。

これまでの仕事でつらかったことはありますか？

A 緊急時に呼ばれることが一番つらいです。

何かしらの事故、例えば舗装が傷んだとか、そういうのがあったときは、その場で対応しなければならないので。何時というのも決まっていないので、それが一番つらいです。

B 入ったばかりの時ですね。

物は全部重いし、外は暑いし、仕事は疲れるし、それでくじけそうになりました。会社の先輩がうるさいのもありました。その人は個性の強い人で、それが大変でした。これらは全部気合で乗り越えました。陰で泣いたりしたこともありましたが、頑張ろうと思いました。仕事を覚えたときの達成感があったので、それは良かったです。

やめたくなかったことはありましたか？

A ありますね。

入って何か月かのときは仕事が難しくてやめたいなと思っていました。でもやっぱり、その頃から可愛がってくれていた先輩が結構大きな案件を持っていて、そのまま自分も一緒に連れて行ってもらっていたので、そこでやめるのは一旦置いておこうというのを繰り返していたら、そのまま続いていた感じです。そこから結婚して子どもも生まれて、それから働かないとまずいな、と思うようになりました。

B 理容師になろうかなと思って今の会社を1回やめたことがありました。理容師になるまでが面倒くさくて、結局今の会社に戻ってきました。

仕事がつらい・やめたくなったときにストレス発散できるような、プライベートでの遊びなど楽しんでいることはありますか？

A

飲み会が楽しいです。
その場ではみんなで楽しく飲んで、仕事の話はしないという感じでやっていて、ストレスのはけ口になっていると思います。

B

友達と会うのが楽しいです。
健康の秘訣でもあると思います。

この会社に入ってよかったと思うことはありますか？

A

今までしたことのない経験ができる部分は良いかなと思います。他の仕事では、一個のものを極める感じだと思うのですが、今の外構工事の仕事は色々な種類があるので、それだけ色々な知識や技術を吸収できて良いと思います。

B

やっぱり憧れの先輩がいたことですね。
今の会社に入って最初はやる気がなかったのですが、怖い先輩に「仕事に80%とかはない。0%か100%、できるかできないかだ」みたいな喝を入れてもらって、それを聞いてウォー！という感じで、気合入れて頑張ろうと思えました。その先輩に会えて良かったなと思います。その先輩とは、つい最近までずっと一緒に仕事していました。その先輩みたいになりたいくて、頑張ろうという思いがあります。

これからの夢や目標はありますか？

A

夢や目標というのはないのですが、子どもがいま成長してくる時期で、いきなり転校とか、そういう負担があることはさせたくないな、というのはありますね。できる限り今いる場所で子どもを育てていきたいなという思いがあります。

B

子どもが欲しいです。
いいお父さんになれたらなと思います。Aさんや他の従業員のお子さんを見ることがあって、それを見ると燃えてくるものがあります。

仕事を選ぶ上で大事だと思うポイントは何だと思いますか？

A

何をやるにしても、その時の自分との向き合い方が大事だと思います。例えば、自分には力があると思うのであれば、力を活かせる仕事を選ぶのは良いと思いますし、そのような感じで自分を見つめて「これぐらいなら自分にもできるかな」という感じを掴むところからスタートするのが良いかなと思います。

B

正直選ぶ上で何が大事かは分かりませんが、何を選ぶにしても、やると決めたらやりきることが大事だと思っています。

これから協力雇用主のもとで働くことを考えている人へのメッセージがあればお願いします。

A

どこで働くにしても、第一に、やってみる・頑張ってみることが大事だと思います。1か月～2か月では仕事が自分に合っているかどうかは分からなくて、1年ぐらいやってみて周りが見えるようになってからやっと分かることだと思うので、それまでは頑張ってみるのがいいと思います。

B

働くとおいしいものが食べられます。
1に仕事、2に生活、3に遊びです。

Cさん(Aさん・Bさんの上司)は、これまで出所者を雇用してきた中で印象的だったことはありますか？

C

出所者にも色々な人がいるのだな、と思ったことです。Aさん・Bさんは自分の考えや思いをしっかりと話せるだけの能力があります。他の人たちは必ずしもそうではなく、自分のできることがわからずに犯罪の世界でしか生きられないと思っているような人たちもいて、彼らには彼らなりの人生観がある気がしています。そのような人たちに対しては、自分の価値観を無理に押し付けることはせず、彼らのできることを見つけてあげるサポートをすることが大事だと思っています。たとえ会社をすぐやめてしまったとしても、それをきっかけにどこかで「自分はこのことができる」というのが見つけられたら、それでいいのではないのでしょうか。

Aさん・Bさんとのエピソードはありますか？

C Aさんは当社が出所者を受け入れる最初の方だったので、職人氣質の先輩たちの中、仕事を覚えるのに相当精神的にはつらい思いをしたかもしれませんが、それを乗り越えられる器があったと思います。

彼は若くて腕力がとてもあって、みんなが喜んで受け入れたというの也有ります。重い・疲れる作業を彼は引き受けてくれたので、みんなから可愛がられました。

今Aさんは職長をやられているのですが、この会社の中では比較的短い時間で職長になっていて、自分のできること・得意なことを伸ばしつつ、資格もたくさんとるなど、前向きにやってくれていると思います。家族を養いながら仕事もして偉いと思います。

Bさんの場合は、愛嬌があって、誰からも慕われる部分があるのが良いと思います。失敗があっても、彼の明るい性格が出ているお陰で、みんなから可愛がられています。仕事で出来なかったことがあったときでも、「すみません」と謝れる素直さと、乗り越えられる持ち前の明るさがあります。

ほかにも、最初Bさんは重いものを持てなかったのですが、今では引っ張りだこで、雑用仕事では一番成果を出してくれています。体つきも、最初は腕立てが数回しかできなかったのが、今では信じられないくらいに体力がついていて、何をやれと言われても積極的で、仕事の流れもわかるようになっていています。

なかなか出所者の雇用に至らない、雇用実績が少ない協力雇用主に対してアドバイスはありますか？

C

言いたいのは、刑務所に入ったからといって、悪い人ばかりじゃないということです。私の知っている本当に悪い人たちは、自分のダメな部分を受け入れない人たちなので、逆に刑務所に素直に入った上で、自分の弱さを見せられる人は、少しでも立ち直りを求めているのだと思います。

そういう人たちに気持ちをもって向き合ってみたら、想像以上にその人が悪い人じゃないな、ということに気づくのではないかと思います。もともと悪い人なのではなく、小さな頃から家庭環境に恵まれず一人で生活がうまくできない、自立ができないからたまたま悪い方向にいったただだけで、自分から練りに練って悪い方向にいったわけではない、というのをもっと理解してもらえたらなと思います。

これから協力雇用主のもとで働くことを考えている人へのメッセージがあればお願いします。

C

自分の力で自立できる可能性はあるので、闇よりも光を見つめながら、今、自分の出来ることをやればいいのではないかと思います。

自分の要望、希望はたくさんあると思いますが、なかなか信頼できない方も多いと思います。私から言えることは、人を頼ってみるのも大事だということです。協力雇用主以外の事業者だとなかなか事情を理解してくれないと思うので、受け入れる体制が整っているという意味で、まずは協力雇用主のもとで面倒を見てもらいながら働くほうが良いと思います。最初から頑張り過ぎず、まずは自分の居場所を作ることが大事ではないでしょうか。

Aさん、Bさん、Cさん
ありがとうございました！

A

ありがとうございました！

B

ありがとうございました！

C

ありがとうございました！